

経済建設常任委員会活動報告

当委員会では、11月14日、15日の2日間にわたり、静岡県熱海市の視察研修を行いました。

熱海市では2017年から2030年にかけて、今あるものを活かし新たな使い方でまちを変えていく「熱海リノベーションまちづくり」の取り組みを行っており、担当者の説明を受けた後、熱海銀座通り商店街を訪問しました。商店街がシャッター街となっている現状をこのままにはいけないと、熱海出身の民間の方が中心となり、補助金には頼らない、民間主導、地域主導でリノベーションスクールなどの勉強会を重ね、熱海銀座通り商店街ができたことを伺いました。商店街には空き店舗を活用した新しいお店が軒を連ねていました。事業の成功には人材が不可欠であり、当初想定したこととは異なる方向に進んだとしても、根気強く対応し展開していくことが求められていることを学びました。

翌日は、マイクロ水力発電設備の設置工事を行った宮川浄水場とその出水口を見学しました。発電設備は浄水場の敷地内に収まる規模でコンパクトなものでした。導入費用や維持管理費はすべて民間事業者の負担であるため市の負担は少なく、収益は僅かであるが、再エネ化に貢献する事業であると感じました。今後は、本市でも実現の可能性を探るため、勉強会を実施していきたいと考えています。

経済建設常任委員会 委員長 矢板清枝



浄水場内に設置された発電設備を見学する委員